

2023/11/6

「早稲田大学環境資源工学会奨学金授与式について」

1) 日時：2023年10月19日（木）12：45～13：00

2) 場所：早稲田大学 西早稲田キャンパス
51号館12階 環境資源工学科会議室

3) 授与者（敬称略）：

環境資源工学科からの推薦で2名

- ・4年生 小澤 慶大（オザワ ケイト） 古井研究室
- ・4年生 坂口 太一（サカグチ タイチ） 古井研究室

創造理工学部長 有賀 隆先生よりの奨学金採用通知書（30万円）を
環境資源工学会 会長 為栗 浩一が代読、授与

※吉澤兵左奨学金授与式も同時に開催

- ・修士1年生 佐藤 啓太（サトウケイタ） 所研究室

同25万円の奨学金採用通知書を学科主任である山口先生が代読、授与

4) その他

- ・授与後に

会長よりお祝いとして、環境資源工学会 Quo Card(1千円分)を3名の
奨学金受賞者に贈呈。

- ・環境資源工学会奨学金受賞者2名には「将来の抱負」について提出を依頼
（環境資源工学会 HP や会報への掲載については口頭ながら了承取得済み）
- ・環境資源工学会奨学金受賞者2名には工学会の活動への協力を依頼。
- ・当日のスナップ下記 （左が小澤さん、右が坂口さん、）





【小澤さん将来の抱負】

早稲田大学 創造理工学部 環境資源工学科 4年 古井研究室所属の小澤慶大です。

この度は、環境資源工学会の奨学生として採用していただき、心より感謝申し上げます。先生方、OB・OGの皆様など支援して下さった多くの方々に深く御礼申し上げます。

私は現在、CCUS (Carbon dioxide Capture, Utilization and Storage)などを原因として発生する誘発地震に関して研究を行っております。近年、温室効果ガスの排出量削減に向けた取り組みの一環として、CCUS (二酸化炭素地下貯留・利用技術)に注目が集まっています。しかし、CCUSの実用化においては二酸化炭素の漏洩リスクや誘発地震など様々な問題が生じています。特に、誘発地震は人命を直接的に脅かす可能性があるため、対処しなければなりません。そのため、私の研究では、誘発地震の影響を評価することによって、資源開発の安全性向上につなげることを目標としています。

今年の夏休みには、日本財団主催の海洋開発サマースクールに参加し、Texas A&M 大学での学びを通じて、資源開発に関する理解を深めることができました。このような経験を通して、将来的には、資源開発分野で活躍できる人材へと成長していきたいと思っております。今後も指導教員である古井先生の下でより一層、研究活動に励んでまいります。

この度は、誠にありがとうございました。



【坂口さん将来の抱負】

早稲田大学 創造理工学部 環境資源工学科 4年 古井研究室所属の坂口太一です。

この度は、名誉ある環境資源工学会の奨学生として採用していただき、大変光栄に存じます。ここまでご指導、ご支援していただいた方々に深く感謝申し上げます。

私は現在、CCS（二酸化炭素回収・貯留）の挙動予測シミュレーションに関する研究をしています。世界全体の大きな課題である地球温暖化を防ぐためには、地球温暖化の原因とされる二酸化炭素をはじめとする温室効果ガス排出の削減が必要です。そこで、CCSは大気中の二酸化炭素量を直接的に減少させることができる唯一の技術として注目されています。しかし、CCSの問題点として、地下に貯留した二酸化炭素の漏出リスクや貯留による誘発地震のリスクが挙げられ、これら各種リスクを最小限にするには二酸化炭素の挙動予測シミュレータの存在が不可欠です。私の研究では、不均質層に対する二酸化炭素の挙動予測シミュレータを開発し、各種リスクを解析することで安定的なCCSの実現に少しでも貢献することを目的としています。

今後も、研究活動をサポートしてくださる多くの方々、そしてこの素晴らしい環境に感謝し、研究活動に取り組んでいきたいと思っております。この度は誠にありがとうございました。